

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	14	課題区分	C	令和4年(2022年) 3月31日	
横断的な課題	交流と地産地消や産業振興による地域の活性化						
地域重点政策	4結節点という立地を生かした住環境整備・移住推進					上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	環境課	
事業名	ゼロカーボンシンポジウム				電話	0268-25-7134	
					E-mail	uedachi-kankyo@pref.nagano.l	
事業の概要	目的 (目指す姿)	ゼロカーボンに資する取組の意義や必要性等の理解を広げるとともに、一人ひとりができることを実践する。					
	現状と課題	<p>・本県では気候非常事態宣言をしたのに続き、気候危機突破方針を策定。その後、昨年10月の「通称:ゼロカーボン条例」の制定を受け、令和3年度に行動計画となるゼロカーボン戦略を策定。</p> <p>・2050ゼロカーボン実現には、経済活動や住民生活など幅広い分野での主体的・積極的な取組が必要であり、行政だけでなく、事業者や県民など、あらゆる主体と協働した取組が求められる。</p> <p>・報道では、産業イノベーションの創出や化石燃料からの脱却などのスケールの大きな取組が取り上げられ、住民が主役となる省エネ・創エネ、エシカル消費などの住民生活に密着した地道な取組が取り上げられる機会は少ない。</p> <p>・2050ゼロカーボン実現のためには、広く住民に、ゼロカーボンの意義や必要性の理解を深め、広く意識を浸透させ、ゼロカーボンの取組を自分ごと化してそれぞれができることを実践・行動していってもらうことが求められる。</p>					
	内容 (変更後の内容)	<p>1 ゼロカーボン社会実現に向けたシンポジウムの開催</p> <p>○基調講演 住民に地球温暖化の状況やゼロカーボン実現に向けた取組を行う意義や取組の全体像への理解を深めてもらう講演を開催する。</p> <p>○事例発表・パネルディスカッション 交通や建物などの様々な分野のゼロカーボンに向けた取組を先進的に行っている実践者をパネラーとして、取組の発表と「ゼロカーボンに向けて住民が取り組むべきこと」をテーマとしてパネルディスカッションを行う。</p> <p><ゼロカーボンの分野例> 建物(省エネ・創エネ)、交通(EV、自転車利用)、エシカル消費 など</p>					
事業期間	令和3(2021)年5月			～	令和4(2022)年3月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	ゼロカーボンシンポジウム	基調講演、パネルディスカッション	1,000,000	委託料			
	合計		1,000,000				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	ゼロカーボン社会の実現に向けて行動する意向を示した人数		100人(シンポジウム参加者)	104人	● 達成		
					○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>・ゼロカーボンの実現に向け、住民が取組の意義や理解等を深め、実践・行動する契機となるシンポジウムをオンラインとリアルハイブリッド型で開催した(R4.1.7)。(当日参加者数196人(会場参加者数 55人、最大同時接続数 141人))</p> <p>・YouTubeでの動画配信。再生回数は2,441回(動画公開 R4.1.7～R4.2.7)</p> <p>・ゼロカーボン社会の実現に向けて行動する意向を示した人数は、104人(回答者106人中)。</p> <p>・シンポジウムを通じ、参加者自らが「私のゼロカーボン宣言」を行う等、ゼロカーボンを「自分ごと」化して実践・行動していく契機となった。</p>						
今後の方向性	ゼロカーボンの取組事例を学ぶ機会を提供し、地域の取組を推進していくため、管内の取組事例の取材や動画作成による情報発信事業等について、検討を進めていきたい。						